

くんち

10月、11月に市内各地で行われたくんち行事を紹介します。

御厨

蛇踊りを披露

御厨町の姫神社の例大祭「御厨くんち」が10月17日、同町内で行われました。

無病息災と豊漁・豊作を願う神事後、地区の住民約200人が、ご神体の「お旅所」までの約2キロを笛や太鼓を鳴らしゆつくりと練り歩きました。

また、御厨蛇踊り保存会による伝統芸能の蛇踊りが、姫神社を皮切りに同町内各所で披露され、集まった住民から大きな拍手が起こっていました。



福島

奉納相撲大会

福島町の今山神社の秋の例大祭が10月29日にあり、浦安の舞の奉納やおくんだり、奉納相撲大会などが行われました。

奉納相撲大会は、福島町相撲実行委員会主催で今山神社境内で開催されました。小中学生のわんぱく相撲個人戦と、一般の個人戦・地区対抗団体戦で熱戦を繰り広げました。

流鏝馬を披露

県内で唯一伝わる「流鏝馬」が10月26日、淀姫神社で披露されました。

900年以上の歴史があり、馬が巻き起こす風に当たると無病息災、外れた矢を拾うと良縁に恵まれるといわれています。

射手は、福田邦光さん（調川・上平尾）と中村嘉宏さん（平戸市）の二人。烏帽子と狩衣姿で、馬上から3か所の的を目掛けて18本の矢を放ちました。

矢は16本命中しましたが、途中矢が折れるハプニングがあったことから、中川明宏宮司は「思わぬ出来事に気をつければ、大豊作になるでしょう」と話していました。

志佐



松浦の

今福



飾りみこしの演舞

今福町の今福神社の例大祭「今福くんち」が10月15日、同町内で行われました。

無病息災と地域の発展・繁栄を願う神事後、地区の住民約200人が、ご神体の「お旅所」までの約2^{キロ}を笛や太鼓を鳴らしゆっくりと練り歩きました。

今福港近くの広場では、平戸神楽や獅子舞などが披露され、地域の若者たちでつくる「今福常若隊^{とこわかたい}」による飾りみこしの演舞では、担ぎ手が「和一処（わーいっしょ）」の掛け声で飾りみこしを空に向かって放り投げると、集まった住民から大きな拍手が起こっていました。

勇壮に漁船パレード

星鹿町の羽黒神社の例大祭「星鹿くんち」が11月5日、同町内で行われました。

無病息災と豊作、豊漁を願う伝統行事で、太鼓や笛の音に合わせ、みこしを担いだ大人や剣道着姿の子どもたちが、隊列をつくって町中を練り歩きました。

みこしは星鹿港から漁船に積み込まれ、大漁旗で飾り立てられた小型まき網漁船約50隻が隊列を組み、星鹿港内を三周する勇壮な漁船パレードが行われました。

星鹿



上志佐



おくだりに子どもみこし

上志佐地区の若宮神社の秋の例大祭「上志佐くんち」が10月27日、同神社などであり、地域住民などによる「おくだり」が行われました。

おくだりには、上志佐保育所の園児25人も参加し、「子どもみこし」を担ぎ、「わっしょい！わっしょい！」と元気に練り歩きました。

また、この日は同神社で平戸神楽も奉納されました。